

平成 27 年度
島根大学大学院人文社会科学研究科修士課程
法経専攻地域経済コース
(第 2 次) 入試問題

【情報経済論】
(一般入試)

注 意

- 1 問題紙は 1 ページ、解答用紙は 4 枚、下書き用紙は 4 枚である。
- 2 指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙に清書すること。解答は横書きとする。
- 4 問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

以下、2つの問題に答えなさい。

問題1

日本の経済成長を、コブ＝ダグラス型の生産関数を用いて分析した。下表は1990～1995年、1995～2000年、2000～2005年、2005～2009年における経済成長率(GDP成長率)とIT資本ストック(K1)、一般資本ストック(K2)、労働(L)それぞれの経済成長率に対する寄与度(上段: %)および寄与率(下段()内:比率)である。この表からIT投資が経済成長に与える影響について述べよ。

日本の経済成長率への各生産要素の寄与度(%)の推移

()内は寄与率

	GDP成長率	K1	K2	L	その他
1990年～1995年	1.41	0.35 (0.25)	0.56 (0.40)	-0.40 -(0.28)	0.89 (0.63)
1995年～2000年	0.96	0.89 (0.93)	0.70 (0.73)	-0.33 -(0.34)	-0.30 -(0.31)
2000年～2005年	1.30	0.42 (0.32)	0.61 (0.47)	-0.34 -(0.26)	0.61 (0.47)
2005年～2009年	-0.82	0.38 (0.46)	0.32 (0.39)	-0.65 -(0.79)	-0.87 -(1.06)

総務省「ICTの経済分析に関する調査」より

問題2

オープンデータの定義について説明し、オープンデータを活用した経済効果の可能性について述べよ。